

たのしかった
(小1)

2025.8.19(tue)

なつやすみ おやこぼうさい 教室レポート

またいきたい
(小2)

災害時のお話

防災担当の加藤課長補佐からは、災害時のトイレの問題や避難所で配布される食事、さらには名古屋市防災アプリの活用などについてお話がありました。

その後は子どもたちと一緒に調理体験も行い、みんな手際よく楽しそうに取り組んでいました。

『食べること』と同じくらい『出すこと』も備えが大切だと熱く語る加藤補佐。その言葉に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん。



この他、備蓄用ビスケットもお配りしました。携帯トイレのお土産」
「これ、ホントにもうっ
ていいんですか？」とびっ
くりするお母さんも!!



サバイバル・クッキング



えっへん

「サバイバルお好み焼き」と、ポテトスナックで作る「即席ポテサラ」
芋ようかんで「さつま芋プリン」を作りました。どれも大好評でした！

芋ようかんと水を
鍋で煮溶かしています



スキムミルクを加え
冷やしたら
さつま芋プリンの
できあがり！



常温でも固まりま
すが今回は時短のた
め氷水で冷やし固め
ました

味の決め手は糸こんにゃく、
桜えびと…すぐおいしいすこ
くおいしい、アレ!!



これが、全員が「とてもおいしか
った!」と答えた
—サバイバルお好み焼きです!



水道が使えないから
やかんから水を
もらいます



調理は普段の会議室を使って行いました。調理後は、古
くなったウェットティッシュを水で湿らせて鍋やフライ
パンの汚れを拭き取りました。お皿にはあらかじめラップ
をかけてから盛りつけることで、洗い物を減らし清潔に保
つ工夫をしました。



非常持ち出し袋コーナー



会場の一角には、非常持ち出し袋の実物や備蓄に適した食品、水の必要量の目安などを展示し、実際に背負
って体験していただきました。大人でも十分に重いリュックサックが「これで1日分」と知り、多くのお母さ
んが驚いていました。必要な水の量についても、その多さに改めて実感を持っていただけたようです。